



日本社会人団体馬術連盟  
第43回  
全日本社会人馬術選手権大会  
ファイナル（障害選手権）

プログラム

日 程： 令和7年3月15日(土)～3月16日(日)

場 所： JRA馬事公苑

主 催： 日本社会人団体馬術連盟

協 賛： レッキス工業株式会社

後 援： 農林水産省 スポーツ庁

公益社団法人日本馬術連盟 日本中央競馬会

世田谷区

## 大会役員

大会会長	山口 昇				
大会副会長	東 純一	宮川 一彦			
大会顧問	千 玄室	菊田 淳	斎藤 十朗	菅原 俊之	宮川 恭一
	駒井 雅夫	樋口 正明	新垣 恒則	丹澤 太良	森下 力
大会参与	内門 陽司	内田 忠	平井 雅郎	袋 敏洋	合田 功
	松元 庸子	小島 久昌	浅野 純子	能勢 満司	河田 みさ子
大会委員長	久保 知之				
審判長	浅野 純子				
審判員	富田 雄大	平松 志都花			
救護看護師	周郷 裕子				
救護獣医師	松本 真実				
装蹄師	前田 圭太				
コースデザイナー	岡部 学				
競技委員長	久保 知之				
競技委員	田原 孝幸	水田 貴	早田 恭彦	中村 則幸	龍 家主
	李 太喜	川瀬 直也	杉田 愛子	丁野 梨沙	林 由佳
	若島 恵介				
記録	丁野 梨沙	栗原 理			
放送	佐藤 里美				
総務広報	早田 恭彦	内田 涼子	高田 一輝	石塚 三千代	
賞典	木村 郁実	杉田 愛子			
会計	能勢 満司	工藤 豊			
馬匹提供団体	フジホースライディングクラブ (株) Paradox 八王子乗馬倶楽部 慶応義塾大学體育會馬術部 JRA 馬事公苑				
運営協力	学習院輔仁会馬術部 慶応義塾大学體育會馬術部 東京大学運動会馬術部 日本大学馬術部				

(順不同、敬称略)

## 競技日程

### 3月15日(土)

- 8:30 大会責任者・コースデザイナー・学生集合、コース調整  
8:45 馬匹提供団体集合：打合せ  
9:00 審判・役員集合：大会本部前  
9:15 障害選手権選手集合：抽選 連絡事項伝達
- 9:30 予選 下見  
9:50 予選 1鞍目 馬装開始  
10:20 予選 1鞍目 試走開始  
終了次第 選手準備運動開始  
10:30 予選 1鞍目 競技開始  
11:20 予選 1鞍目 競技終了 馬匹手入れ
- 11:50 予選 2鞍目 馬装開始  
12:20 予選 2鞍目 試走開始  
終了次第 選手準備運動開始  
12:30 予選 2鞍目 競技開始  
13:20 予選 2鞍目 競技終了 馬匹手入れ
- 13:20 トライアルカップ選手集合 連絡事項伝達  
13:30 トライアルカップ 60cm/80cm 下見  
13:50 トライアルカップ 馬装開始  
14:20 トライアルカップ 試走開始  
終了次第 選手準備運動開始  
14:30 トライアルカップ 80cm 競技開始  
終了次第 トライアルカップ 60cm  
14:50 トライアルカップ 競技終了 馬匹手入れ
- 16:30 懇親会（トライアルカップ土曜日表彰）  
場所：メインオフィス 2F 大会議室

### 3月16日(日)

7:30 競技責任者、学生集合  
7:45 馬匹提供団体集合：打合せ  
8:00 審判・役員：大会本部前  
8:15 トライアルカップ選手集合 連絡事項伝達

8:30 トライアルカップ 60cm/80cm 下見  
8:50 トライアルカップ 馬装開始  
9:20 トライアルカップ 試走開始  
終了次第 選手準備運動開始  
9:30 トライアルカップ 60cm 競技開始  
終了次第 トライアルカップ 80cm  
9:50 トライアルカップ 競技終了 馬匹手入れ

9:50 障害選手権選手集合：抽選 連絡事項伝達  
9:55 予選 3鞍目 下見  
10:10 予選 3鞍目 馬装開始  
10:40 予選 3鞍目 試走開始  
終了次第 選手準備運動開始  
11:00 予選 3鞍目 競技開始  
11:50 予選 3鞍目 競技終了 馬匹手入れ

組替、馬場整備

12:10 準決勝進出選手発表・抽選  
13:00 準決勝 下見  
13:00 準決勝 馬装開始  
13:30 準決勝 試走開始  
終了次第 選手準備運動開始  
13:40 準決勝 競技開始  
14:10 準決勝 競技終了 馬匹手入れ

組替

14:20 決勝進出選手発表・抽選  
14:30 決勝 下見  
14:30 決勝 馬装開始  
15:00 決勝 試走開始  
終了次第 選手準備運動開始  
15:10 決勝 競技開始  
15:40 決勝 競技終了 馬匹手入れ

障害撤収、退厩作業

16:30 表彰式

※ 当日の進行により、前倒し等、変更する場合があります。

# 第43回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル（障害選手権）

## 実施要項

### 1. 競技日程

令和7年3月15日(土)～16日(日)

### 2. 開催場所

JRA馬事公苑（東京都世田谷区上用賀2-1-1）

### 1. 競技種目

障害飛越競技（高さ 100cm まで）

### 2. 出場資格

日本社会人団体馬術連盟 馬術技能資格 AまたはBグレードに認定され、当年度に登録されている者

### 3. 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程第27版及び日本馬術連盟競技規程第36版を採用する。基準タイム及び早着減点の設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再走行を行う。ただし、馬匹の故障が選手に起因すると思われる場合には、当該選手の再走行を認めない場合がある。

#### (1) 予選

選手を、1ブロック4名以下からなる6ブロックに分け、各ブロックに3頭の馬匹を割り当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、3鞍の総合成績によって勝敗を決する。各ブロックの上位1名が準決勝へ進出する。

#### (2) 準決勝

3名からなる2ブロックに分け、各ブロックに2頭の馬匹を割り当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、2鞍の総合成績によって勝敗を決する。各ブロックの上位2名が決勝へ進出する。

#### (3) 決勝戦は4名がそれぞれ2頭の馬匹に騎乗し、2鞍の総合成績によって勝敗を決する。

### 6. 順位の決定方法

(1) 選手の騎乗成績の合計により各ブロック内の順位を決定する。

(2) 予選における各ブロック内の順位は、次の者を上位とする。

ア 減点の少ない者

イ 減点合計が同点の場合は、各走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の合計の少ない者

ウ イで決まらない場合は、減点0の多い者

エ 以上で決まらない場合は、抽選とする。

(3) 準決勝、決勝戦は FEI 規程 238 条 2-1 による。

7. 失権者の減点算出は下記による。

- (1) 失権者の所要時間は、失権に至るまでの所要時間に係わらず当該コースの制限時間をその選手の所要時間とする。
- (2) 失権となった時点において残障害があった場合は、残障害 1 個について 20 点の減点を加算する。残障害とは、一度も飛越を試みない障害をさし、コンビネーション障害は、構成物の A、B、C それぞれを 1 個の障害として計上する。
- (3) 飛越を試みた障害で失権した場合は、その障害に 10 点の減点を加算する。
- (4) 失権に至るまでの過失点を加算する。
- (5) 失権となった選手に次の失権点を加算する。
  - スタートライン通過前に失権となった場合 60 点
  - スタートライン通過後フィニッシュライン到達までの間に失権となった場合 40 点
  - フィニッシュライン通過後に失権となった場合 20 点

8. 表彰

第 4 位までを入賞とし、表彰する。

9. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。また、出場選手は、何らかの傷害保険に加入していること。
- (2) 服装は FEI 規定を適用し、騎乗中はいかなる者も常に乗馬競技用ヘッドギアを適正に着用することを義務付ける。また、安全のため、エアバッグ式ベストなどのプロテクターの着用を義務付ける。
- (3) 出場選手の技術の向上、事故防止に心がけること。危険防止の観点から、主催者及び審判団の協議に基づき改善を指導する場合がある。
- (4) 出場者数及び馬匹その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合がある(競技の詳細などについては、当日の打合わせにおいて説明する)。
- (5) 拍車は、丸拍又は棒拍とし、審判長の指示により着用を認めない場合がある。
- (6) 審判長が認めた場合を除き、上記(2)(5)に違反した場合、失権とする。
- (7) 準備運動は 3 分 2 飛越とする。拒止あるいは逃避が累計 2 回となった場合は、飛越 1 回分として扱う。クロス障害が設置されている場合はその飛越回数は除く。
- (8) 準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越はその都度罰金 3 万円を課す。
- (9) 予選および準決勝で敗退した選手は、競技役員としてその後の大会運営を手伝うこと。
- (10) 今大会では選手の乗り替わりや練習障害の補助、事故が起きた場合の対応などに、選手のサポートが必要です。そのため競技に参加される選手は、参加団体から最低 1 名の馬取扱者を競技補助役員として出すこととする。どうしても協力者がみつからない場合は人件費確保のため 10,000 円/日を連盟に支払う。なお、馬取扱者は馬装や曳き馬の際は必ずヘルメットを着用すること。馬取扱者は、日当、交通費、お弁当は支給しない。

第 43 回全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル（障害選手権） エントリー選手

No.	選手名	所属
1	山島 龍一郎	クリエイティブテクノロジー乗馬愛好部
2	佐藤 充	皇宮警察本部
3	柴田 祐紀	皇宮警察本部
4	龍 家圭	社会人昭和大学ライディングチーム
5	新井 元	社会人昭和大学ライディングチーム
6	近藤 英之	衆議院乗馬会
7	工藤 豊	衆議院乗馬会
8	原田 みなみ	TOPPAN エッジ(株)馬術部
9	若島 恵介	TOPPAN エッジ(株)馬術部
10	稲葉 理佐	パナソニック馬術部
11	竹村 博行	パナソニック馬術部
12	菅原 亮	パナソニック馬術部
13	米谷 倫香	パナソニック馬術部
14	田中 友梨子	富士通(株)馬術部
15	村上 喜信	青波馬術愛好会
16	安川 真由美	青波馬術愛好会
17	池谷 直明	ソニー馬術部
18	小野寺 由紀子	ソニー馬術部
19	松坂 元彰	ソニー馬術部
20	彦田 光興	中部国際空港馬術部
21	祝前 伸光	LINE ヤフー乗馬部

## 日本社会人団体馬術連盟 加盟団体

(2024年10月15日 現在)

### 【正会員団体】17団体

伊藤忠商事(株)相互会乗馬部	TOPPAN エッジ(株)馬術部
梅村建工(株)馬術部	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
クリエイティブテクノロジー乗馬愛好部	パナソニック(株)馬術部
警視庁馬術クラブ	パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部
皇宮警察本部	富士通(株)馬術部
社会人昭和大学ライディングチーム	防衛省乗馬同好会
衆議院乗馬会	三井物産(株)乗馬部
SOMPO ホールディングス馬術部	レッキス工業(株)馬術部
都庁・特別区乗馬部	

### 【準会員団体】12団体

青波馬術愛好会	新潟市馬術協会社会人愛馬会
F.R.C. book farm	日本知的財産協会馬術部
オリックス乗馬部	日本電気保安協会馬術部
グーグル馬術部	(株)日本馬事普及馬事研究部
ソニー馬術部	(株)三菱総合研究所馬術部
TMG 乗馬同好会	税理士法人山田&パートナーズ乗馬同好会
中部国際空港馬術部	LINE ヤフー乗馬部





## 馬のウェルフェアのための馬スポーツ憲章

国際馬術連盟(FEI)は、国際的な馬スポーツに係わるすべての者が、FEI馬スポーツ憲章を遵守し、いかなる場合にも馬のウェルフェアが最優先され、決して競技の勝敗または商業的な影響を受けてはならないことに同意し、これを受け入れることを求めるものである。

1. 競技出場への準備段階や競技馬の調教段階のいずれの時点においても、馬のウェルフェアが他のどのような要求よりも優先されなければならない。
2. 競技馬と選手は競技出場の許可を得る前に、コンディションが良好で競技参加にふさわしい状態にあり、健康状態も良好でなければならない。
3. 競技会が馬のウェルフェアを損なってはならない。
4. 競技参加後の馬が十分な手入れをされること、また現役を退いた馬が人道的な扱いを受けるための最大限の努力をしなければならない。
5. FEIは馬術スポーツに係わるすべての者が、競技馬のケアおよび管理に関連する各々の専門分野において、可能な限り高いレベルに到達するよう推進する。

FEI CODE OF CONDUCT FOR THE WELFARE OF THE HORSE – FEI  
[https://inside.fei.org/sites/default/files/Code\\_of\\_Conduct\\_Welfare\\_Horse\\_1Jan2013.pdf](https://inside.fei.org/sites/default/files/Code_of_Conduct_Welfare_Horse_1Jan2013.pdf)

FEI馬スポーツ憲章 – 日本馬術連盟  
[https://www.equitation-japan.com/about\\_02.html](https://www.equitation-japan.com/about_02.html)

基本原則と理念 – 日本社会人団体馬術連盟  
<https://www.jbg.jp/about/principle>

## << 必読 >>

### 社会人 貸与馬戦の心得

ウィークエンドライダーが中心の社会人にとって、誰が乗るかわからない競技に大切な馬を貸してくださる乗馬クラブや大学は、とてもありがたいものです。また、これらの馬がいなくなれば、我々の競技会は1試合も成り立ちません。皆様が、一戦一戦大切に乘ってくださることで、貸して下さる乗馬クラブや大学との繋がりも広がります。社会人だからこそ、皆様の良識と経験を頼りに競技会を開催しておりますが、以下の点につきまして特に皆様のご理解を頂きたいと思えます。

1. 馬を大切にしてください。

馬は、1回限りの使い捨て自転車ではありません。会ったこともない自分のために、力を尽くして競技してくれるのです。自分の馬と同じように扱い、丁寧に乗りましょう。その場の成績に目がくらんで、行き過ぎた騎乗をしないように気遣いましょう。

2. 貸して下さる団体の方に挨拶を。

参加費を払っていても、馬を借りることに変わりありません。馬にもそうですが、貸して下さる方にも、乗る前の「よろしくお願ひします」乗った後の「ありがとうございました」の一言を忘れずに。競技の結果で挨拶が変わるようでは社会人の名が泣きます。

3. 馬の悪口を言わない。

競技はミズモノです。常に誰かが負け、誰かが勝ちます。原因はあなたかも知れないし、馬かも知れない。単に折り合いが悪いのかも知れないし、運が悪かったのかも知れない。どんな結果でも、次へつながるものへとしたいですね。「勝てば馬のせい、負ければ自分のせい」は全世界共通の馬乗りの基本です。ましてや、借りている馬に対し悪くいうのはもってのほか。品位を疑われてしまいます。

4. 最後まで面倒を見ましょう。

馬装を目の前でしていても前でぼーっと見ていたり、汗だらけの馬をそのまま渡したりせず、競技時間の許す限りは最優先で馬の面倒を見ましょう。どこの、誰の馬でも、その時に自分が乗ったら、手入れまでが自分の責任です。できない場合には、一言、やっけて下さる方に断りましょう。「社会人に貸すと馬ピカピカにして返してくれるんだよな」こんな言葉がいつか聞けるといいですね。

お互いに気持ちよく、楽しく競技をしたい、というのは、共通の願ひだと思えます。社会人競技のこれからの発展のためにも、皆で協力していきましょう。一人一人の小さな行動が、社会人馬術の未来へつながっているのです。

皆様のご協力に心より感謝いたします。

**日本社会人団体馬術連盟 (社馬連/JBG)**

**- Japan Business Group Equestrian Federation -**

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 4 階

TEL: 03-3297-5630 FAX: 03-3297-5636 E-mail: [shabaren@jbg.jp](mailto:shabaren@jbg.jp)

Homepage: <https://jbg.jp/> <https://www.jbg.jp/> – 加盟団体募集中です  
Twitter: <https://jbg.jp/t> [https://twitter.com/JBG\\_Shabaren](https://twitter.com/JBG_Shabaren) – 最新情報や馬に関するつぶやき  
Facebook: <https://jbg.jp/f> <https://www.facebook.com/JBG.Shabaren> – 最新情報はこちらからも  
YouTube: <https://jbg.jp/y> <https://www.youtube.com/user/JBGShabaren> – 大会中継・録画動画  
Instagram: <https://jbg.jp/i> [https://www.instagram.com/jbg\\_shabaren/](https://www.instagram.com/jbg_shabaren/) – 写真なども  
Line: <https://jbg.jp/l> <https://line.me/R/ti/p/%40642telxg> – LINE 始めました！